

健康経営について

代表メッセージ

当社は、安全・安心なビル管理サービスを支える原動力は「人」であり、従業員の健康は、企業の持続的な成長に欠かせない重要な経営資源であると考えています。

近年、従業員の高齢化の進展や働き方の多様化に伴い、健康課題はますます多様化しています。当社では、定期健康診断の受診促進や再検査・精密検査の受診勧奨をはじめ、健康増進施策やメンタルヘルス支援などを通じて、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。

また、一人ひとりが健康でいきいきと働き続けられるよう、健康意識の向上、コミュニケーションの活性化、働きやすい職場づくりを推進し、従業員の Well-being 向上に努めています。

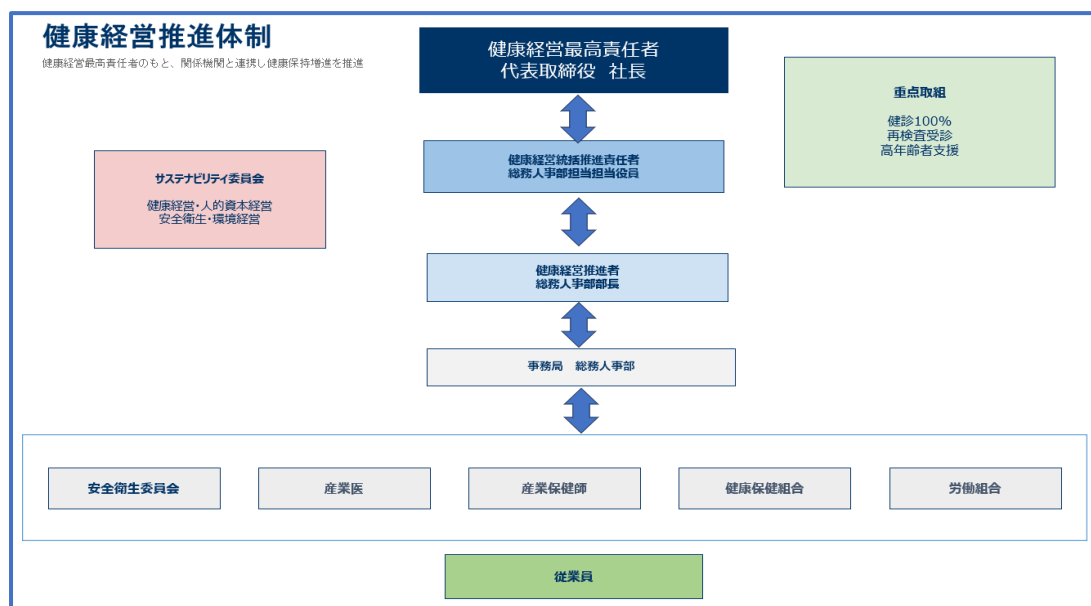
健康経営は、当社の未来を支える重要な経営戦略の一つとして位置付け、従業員の健康長寿と Well-being の向上を通じ、安全・安心なビル管理サービスを提供し続け、お客様・社会・従業員から信頼される『100年企業』の実現に挑戦してまいります。

健康経営推進体制

当社では、代表取締役社長を健康経営最高責任者とし、総務人事部を中心に、安全衛生委員会、産業医、産業保健師、健康保険組合、労働組合および従業員と連携しながら健康経営を推進しています。

健康診断結果の分析や健康課題の把握、疾病予防・健康増進施策の企画・実施、職場環境の改善などに継続的に取り組み、従業員一人ひとりが健康で能力を最大限発揮できる職場づくりを進めています。

また、産業医・産業保健師との連携強化により、疾病の早期発見・早期治療および重症化予防を推進し、健康長寿の実現と組織の活性化を目指しています。



健康経営目標

基本方針

当社は、従業員の健康保持・増進を重要な経営課題と位置付け、健康長寿の実現に取り組めます。

健康診断受診の促進や疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善、メンタルヘルス対策、コミュニケーション活性化などの取組を通じて、従業員が健康でいきいきと働き続けられる職場環境づくりを推進します。

目指す姿

従業員の健康長寿の実現を通じて、安全・安心なビル管理サービスを持続的に提供する

重点取組

- 健康診断受診率 100%の維持
- 再検査・精密検査受診率の向上 95%
- 生活習慣病予防と健康意識の向上
- メンタルヘルス不調の予防と早期対応
- 運動機会の提供による健康増進
- 従業員間のコミュニケーション活性化
- ワークエンゲージメントの向上
- 健康で働き続けられる職場環境の整備